



日野そら豆 だより

Vol. 2

平成24年 9月 1日
そら豆の会事務局(透析室)
連絡先:日野市立病院 透析室
TEL 042-581-2677(代)
Mail:touseki@m3.hinocatv.ne.jp

～平成24年 8月 9日(木)【日野そら豆の会】の初会合が行われました～

当日は市立病院3階の職員休憩室を使用し会員、病院スタッフ合わせて13人が出席。はじめに大川会長の挨拶のあと、河内氏(院長相談役)より、今後の透析ベッド増の計画など病院全体に関する話題、村上副院長(透析室長)より、透析室を中心とした、腎臓病治療体制の話がありました。

その後、村上副院長を交え懇談となり、大川会長から透析を行っていたころの自己管理方法や、移植経験談などが話されました。話の中から出てきた疑問や、会員からの質問に村上副院長が答える形で会が進行し、約一時間の懇談後、今後の予定などを決めて一回目の会合が終了しました。

当日の話題を抜粋して・・・

- 1、透析を始めると、国や都、市などから様々なサポートが受けられる。ただ申請しないと受けられない制度もあるので、注意が必要。
- 2、日頃の食事内容や内服薬をきちんと飲むなど、元気に長生きするには何より自己管理が大事となります。
- 3、リン(P)の管理にはリンゴ酸が便利で効果的、困っている人は先生に相談してみてもは。(医薬品ではないので病院売店で販売している)
- 4、腎臓移植は患者登録が必要となる。登録後も年一回の採血や再登録など費用が必要となるが、移植を受けるためには必要となる。→日本では実際の移植数は少ないが、移植を考える人は病院に申し出てください。
- 5、腹膜透析(PD)治療は時間の余裕もあり、選んでよかった。
- 6、血圧が安定しないが・・・新しい良い薬もあるので、診察時に主治医とよく相談して。

.....などなど

会合で決めた事柄、今後の計画

- 1、会員名簿は各自には配布せず、事務局で管理していく。
- 2、2月を目途に講演会を行う(PDと生活内容を中心とする予定)
- 3、今年中(11月を目途)に会員だけでも2回目の会合を開催する。



暑い中出席していただき、お疲れ様でした。一回目で様子がわからず、和室を用意してしまいました。今後は椅子を使える部屋を準備します。懲りずに参加してくださいね。暑かったり、豪雨だったりで変な天気ですが、体調管理に注意してくださいね・・・事務局